

目標達成計画

作成日: 2019年 8月 18日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	夜間想定のみならず、日中想定の実施及び連絡網を実際に回し、検証することに期待したい。また、自主訓練の反省点を次の訓練に活かし、改善に繋げる為に、記録に残すことが望まれる。	訓練内容を記録することで避難訓練の重要性を周知させる。	月2回連絡網を回し訓練を行い、自主訓練を行った場合は、記録し次に繋げるようにする。	12ヶ月
2	36	トイレでの排泄は利用者の尊厳、羞恥心への配慮が必要であることは職員も理解しているものの、排泄支援の際、トイレ内が狭く、ドアを開けたままの支援となっている。早期の検討、工夫が待たれる。	利用者の尊厳・羞恥心への配慮を行う。	一部の職員がドアを開けたままの支援を行っていたので改善を行う。研修により排泄支援の方法についても徹底する。改装に関しては、業者と検討して適切な介助ができる環境整備に繋げていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月